

若手クラブ仕事人の夢メッセージ

羽田 恭平 さん

1. サッカーの縁でクラブマネジャーに

”きわめてまじめな好青年である”とは、「フラッグス」（山梨県富士吉田市）の事務局長早川さんの羽田恭平さんに対する人物評です。

羽田さんは、小学校からサッカーを始めました。そのときのサッカークラブ指導者が、現クラブ「フラッグス」会長の勝俣進さんでした。また昨年まで、フラッグス事務局員である勝俣美香さんの子どもが所属していた、サッカークラブチームの指導を行っていました。そんな縁で人柄を認められ、クラブマネジャーとして誘いを受けました。



2. 学びの毎日

マネジャーとして仕事を始めて2年、会場の確保、講師との連絡調整、参加者の受付等、運営する側として、立場が180度変わりました。

羽田さんは「今まではスポーツをただやらせてもらっていましたが、その裏で様々な準備をしてもらっていたことなど全く気付きませんでした」と言います。

今では支えることの大切さ、難しさを学んでいます。幼児から高齢者まで、多様な考えやニーズがあることも学びました。失敗も多くありますが、クラブスタッフ、会員に支えられながら、会員に喜んでもらえるクラブ作りに励んでいます。

3. 教室での様子

60歳以上を対象とした「若返り教室」での羽田さんの活動の様子を覗いてみます。この教室は「スポーツは生きがいづくり」として軽い運動を週2回行い、定員20名、月2,000円の参加費となっています。教室の開始前には、体重、血圧、体脂肪率などを計測します。3ヶ月ごとにデータを整理し、市の医師会の協力を得て主治医との健康相談に活用するため、人気のある教室です。クラブの自主事業での開催ですが、増え続ける富士吉田市の医療費削減を目指しています。

教室開始の1時間前、羽田さんは血圧計、体重計等計測器の準備を始めます。会員は来た順に各自で計測を始めます。傍らで補助をしている羽田さんに、会員から息子や孫のように話しかけられ、アメや菓子の差し入れまでありました。

活動最初の足踏み体操では、会員全員が「若く！美しく！いつまでも！いきいきと！」と声を掛けながら活動していました。羽田さんも大声で盛り上げていました。

活動が終わった後会員からこんな声が聞かれました。

「教室に来るのが生きがい」「この日だけは他の用事を休んでも教室には来たい」

羽田さんの「会員に喜んでもらえるクラブ作り」の目標が少しずつ実現しています。

4. スポーツの町富士吉田を目指して

クラブのモットーは「えがお、笑顔、E G A O」のあふれる「フラッグス」。「楽しむ、よろこぶ」がなければ総合型地域スポーツクラブではないと教えられています。

そこで羽田さんが心がけていることは、「会員とのコミュニケーションを重視する。会員目線で運営を行う。それぞれのライフステージに応じたスポーツ活動を提供する。地域のコミュニティーの場となる」クラブ作りです。

羽田さんは1人でも多くの地域住民にクラブを認知してもらい、「1人でも多くの市民がスポーツに親しむ町、富士吉田」の実現を目指しています。

富士吉田は富士山の麓の観光都市です。「将来は観光客と一緒に楽しめるクラブ作りをしたい」と羽田さんは話してくれました。



紅葉台(富士吉田市)ハイキング(向かって左端が羽田さん)

(進藤芳昭 山梨県クラブ育成アドバイザー)

【フラッグス(山梨県富士吉田市) プロフィール】

1. 設 立 年月日：平成 20 年 9 月 20 日

経緯：「富士吉田市スポーツ振興計画」に基づき、設立当初は市の教育委員会が中心的役割を担った。平成 22 年度まで、事務局は市の教育委員会の中に置き市の職員が担当。

2. 地 域 人口：51,000 人(平成 24 年 4 月現在)

特性：富士山の麓の観光都市、吉田の火祭りや吉田のうどんが有名。

3. 運 営 会員数：188 人(平成 24 年 6 月現在)

予算規模：約 800 万円(平成 24 年度)

4. 特 徴 ターゲットは地域の既存チームではカバーできない小学校低学年とその保護者でスタートした。現在は市の医師会の協力を得て、60 歳以上の健康教室を実施し、健康増進に寄与している。

5. 連絡先 〒403-0005 富士吉田市上吉田 6200 鐘山スポーツセンター内

TEL：0555-24-3633 FAX：0555-22-6299

関連リンク:進藤芳昭氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/474/Default.aspx>